



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 日東化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 永井 敦

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,864	2.7	263	5.1	260	3.8	218	26.4
29年3月期第3四半期	6,027	13.4	278	75.4	270	84.7	297	166.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	57.02	
29年3月期第3四半期	77.48	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	6,571	2,548	38.8	664.11
29年3月期	6,142	2,366	38.5	616.53

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,548百万円 29年3月期 2,366百万円

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		1.00	1.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	5.7	280	11.4	270	11.4	225	32.0	58.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額で記載しております。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	3,840,000 株	29年3月期	3,840,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,250 株	29年3月期	2,178 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,837,796 株	29年3月期3Q	3,837,910 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業業績や雇用情勢の改善などにより景気は緩やかな回復基調を維持しているものの、米国政権の政策動向や不安定な中近東情勢、更には核開発をめぐる北朝鮮問題など多くの懸念材料を抱え、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、売上高につきましては、高機能樹脂コンパウンドでの一部の受託製品終了等により、前年同期比減収となりました。また、利益面におきましても、固定費の削減や原価低減を推進しておりますが、原料及びユーティリティ価格の高騰による影響により、前年同期比減益となりました。

その結果、当期の業績は売上高5,864百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益263百万円(前年同期比5.1%減)経常利益260百万円(前年同期比3.8%減)、四半期純利益218百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

(セグメント別の状況)

(ゴム事業)

ゴム事業全体の売上高は前年同期を172百万円上回る4,457百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

<ゴムコンパウンド>

自動車関連の受注が堅調に推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

シートにおきましては受注が堅調に推移し、概ね前年同期並みの売上高となりましたが、マットにおきましてはクッションマットでの受注が低調であったこと、及び前年同期は工事案件でのスポット受注があったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤの受注が好調に推移したことにより前年同期を上回る売上高となりました。

(樹脂事業)

樹脂事業全体の売上高は、前年同期を328百万円下回る1,390百万円(前年同期比19.1%減)となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

一部の受託製品が終了したことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

<樹脂洗浄剤等>

樹脂洗浄剤および制電性樹脂ECXの受注は堅調に推移したものの、リサイクルナイロンの販売終了により、前年同期を下回る売上高となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は6,571百万円となり、前期末に比べ429百万円増加しました。流動資産は、売上債権が増加したことに加え、当四半期末日が休日であったことから買入債務等の支払いが翌月になった影響により現預金残高が増加したため、前期末に比べ447百万円増加しました。また、固定資産につきましては、設備投資額は増加したものの、関係会社出資金の売却により、前期末に比べ17百万円減少しました。

負債は4,022百万円と、前期末に比べ246百万円増加しました。流動負債は借入金の返済による減少はあるものの、主に当四半期末日が休日であったことから買入債務等の支払いが翌月になった影響等により、前期末に比べ198百万円増加しました。固定負債は、主に借入をしたことにより、前期末に比べ48百万円増加しました。

純資産は2,548百万円と、前期末に比べ182百万円増加しました。これは配当金の支払いによる減少はあるものの、主に当第3四半期累計期間における四半期純利益によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年4月28日に発表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	106	248
受取手形及び売掛金	2,293	2,504
商品及び製品	223	238
仕掛品	117	101
原材料及び貯蔵品	189	236
その他	104	151
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,035	3,482
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	551	559
機械及び装置(純額)	709	728
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	12	20
その他(純額)	98	108
有形固定資産合計	2,947	2,992
無形固定資産		
その他	49	48
無形固定資産合計	49	48
投資その他の資産		
投資有価証券	26	30
関係会社株式	16	16
関係会社出資金	64	—
その他	7	7
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	110	48
固定資産合計	3,107	3,089
資産合計	6,142	6,571
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,142	1,440
短期借入金	1,050	1,110
1年内返済予定の長期借入金	699	569
未払法人税等	25	28
賞与引当金	82	40
その他	408	417
流動負債合計	3,407	3,605
固定負債		
長期借入金	—	37
退職給付引当金	355	360
役員退職慰労引当金	11	17
繰延税金負債	1	2
固定負債合計	368	417
負債合計	3,776	4,022

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	445	625
自己株式	△2	△2
株主資本合計	2,363	2,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	5
評価・換算差額等合計	2	5
純資産合計	2,366	2,548
負債純資産合計	6,142	6,571

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,027	5,864
売上原価	5,266	5,104
売上総利益	760	759
販売費及び一般管理費	482	495
営業利益	278	263
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
事業譲渡益	1	—
未払配当金除斥益	0	0
その他	1	1
営業外収益合計	7	8
営業外費用		
支払利息	13	10
その他	1	0
営業外費用合計	15	11
経常利益	270	260
特別利益		
固定資産売却益	63	20
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	63	20
特別損失		
事業撤退損	19	—
固定資産除却損	5	2
関係会社出資金売却損	—	26
特別損失合計	24	28
税引前四半期純利益	310	252
法人税、住民税及び事業税	12	33
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	12	33
四半期純利益	297	218

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。